

2019年5月末、40代後半で未婚の女性が来院。主訴は主婦湿疹で、今冬より出始めた。皮膚科でステロイドなど処方され、治まっていたが、3月末からまた出始めた。痒くて辛いと言う。子宮筋腫(15cm)が子宮外壁にあり、膀胱が圧迫され、頻尿。生理出血多く、時々、貧血。時に黒っぽい塊が出る。冷え性で足先冷たく、肩凝りもひどい。時に片頭痛。肝臓血管腫がある。

脈はスジを感じ、右尺は沈からの突き上げがある。この突き上げは右鼠径部付近に感じる熱実を反映している。舌下脈絡にやや怒張があり、右膝近くに広く血絡がある。湿疹は両手にあり、乾燥して赤い。胸下部全体に邪熱。子宮筋腫による腹膨満が臍まで及ぶ。

まず仰臥で、胸下部の邪熱や右鼠径部付近の強く実した邪熱を局所から空中鍼で取り、更に手首付近に鍼して、経脈を通して取った。次に仰臥で、胸下部邪熱が背部に出ているところに鍼して、邪熱を取る。細腰から仙骨部にかけては虚し張っていたので、線香灸で補い緩めた。足首付近の反応している経脈(腎経や膀胱経辺り)に足方向に軽く斜刺し、気が流るだけ流した。主だった施術は以上である。この施術で、凝っていた背は緩み、腹の膨らみは、明らかに小さくなった。本人もその効果に驚いていた。

翌週、そして翌々週に来院した。最近の検査では10cmと言われたと言う。手の湿疹は以前ずっと炎症状態が続いていたのが、治まるようになったが、まだ辛いと言う。

その後、3週間経って、7月11日に来院。生理が1週間程遅れてまだ来ていない。手に以前

より大きい水疱ができ、時に痛いと言う。肩凝り・片頭痛はほとんどない。

7月25日に来院。前回治療後2・3日で生理が来た。元々生理出血は多い方だが、それ以上に多かったと言う。手の湿疹は良くなかったが、しばらくして、治まり出したと言う。

8月2日に来院。お腹の張りが強いと訴える。手の湿疹は良くなっている。本人は合成界面活性剤をやめたお蔭だと思っている。お腹の張りが強く、再び臍の際まで膨らんでいる。右鼠径部付近の熱実は強く、腰部は細腰から仙骨

部にかけて大きく虚し張っていた。初診時と同様に施術し、よく効いた。

8月8日入院時は良い状態が続いていたが、2週間空いて23日に来た時には、お腹が少し張って来ていた。生理が遅れていた。右鼠径部の熱実は強くなった

しており、腰部は全体には虚ではないが、その中で部分的な虚がある。

9月25日入院。結局8月は生理がなく、やっと昨夜始まった。仰臥で診ると、体幹部全体にパラパラと邪気があるが、胸下部や右鼠径部周辺の熱実は籠っていて、邪気が発して来ない。伏臥で診ると、背面からも発していない。全体的に張っていて、鍼が入りづらく、邪熱を局所から瀉すことができない。そこで手首・足首付近の鍼で反応する経脈を響かせた。すると、表面の張りが全体的に取れ、邪気は浮いてくるようになったので、局所から瀉すことができた。

その後、毎週来院するようになり、下腹部の膨満が減り、鼠径部の熱実の度合が小さくなってきている。良い状態を保つことで、自己治療力が働く。今後が期待できる。(2019年10月寒露)

